

令和7年11月13日

手柄幼稚園・手柄保育所
保護者の皆様

社会福祉法人陽心福祉会
理事長 尾崎匠

ご挨拶

本日は、お忙しいところ、手柄幼稚園・手柄保育所の民間移管に係る説明会にお越し頂き、ありがとうございます。私たちは、社会福祉法人陽心福祉会と申しまして、姫路市内で幼保連携型認定こども園みどりヶ丘幼稚園と、みどりヶ丘幼稚園かまえ分園を運営している法人になります。この度、姫路市の審査会を経て、私どもの法人が、手柄幼稚園・手柄保育所の民間移管の移管先事業者として選定されました。

この手柄という地域は、子育てにとっても本当に素晴らしい地域であり、私たちも近隣に分園を設置した経緯から、是非ともこの地域で、地域の皆様の子ども子育てに貢献して参りたいとの思いのもと、応募をさせて頂いたのですが、今般、事業者として正式に選定され、改めて、手柄幼稚園・手柄保育所のお子さんや保護者の皆様のために、と熱い思いを感じているところです。

私達の思いとしましては、やはり究極的には、お子さんはもちろん保護者の皆様に喜んで頂きたい、乳幼児期の本当にかけがえのない毎日が、より輝いたものになるように、しっかりと貢献して参りたい、との思いがあります。本日は、私達の思いや考え方の部分もご説明させて頂き、少しでも新園への移行に楽しみや期待、夢や希望を感じて頂く事ができれば幸いです。

とはいって、今般の事業については、民間移管という初めてのことばかりですので、保護者の皆様におかれましては、ご不安な点や疑問点等、様々な思いをお持ちかと思います。本日の説明会では、時間も限られている部分もございますので、今後、三者協議会での協議や情報発信等も丁寧に行い、引き継ぎ期間のおよそ1年半の間で、少しでも皆様のご不安やご心配に応えていけるよう、法人としても精一杯、取り組んで参ります。そして、皆様方が、心から安心して、心から楽しみに、令和9年4月1日の開設を迎えられます様に、開設後も毎日を本当に安心して楽しく過ごし、喜びを持って卒園を迎えられます様に、法人職員、一丸となって努力して参りますので、今後とも、どうぞよろしくお願ひ致します。



手柄幼稚園・手柄保育所の 民間移管に係る説明会

社会福祉法人 陽心福祉会



社会福祉法人 陽心福社会について

★昭和39年4月認可外保育施設設置

★平成29年新園舎竣工。認可保育所及び保育所型認定こども園移行。

★令和2年4月社会福祉法人陽心福祉会設立。幼保連携型認定こども園へ移行。

★令和3年5月みどりヶ丘幼稚園かまえ分園設置。

★令和6年第二園舎、第二園庭整備

★令和7年誰でも通園制度開始。



施設長予定者の紹介



1 【氏名】

北野 和子(きたの かずこ)

2 【略歴】

- 1978年～ 姫路市市役所職員採用 公立保育所の保育士として勤務
(豊富・中央乳児・高岡・めぐみの各保育所)
- 1993年～ 姫路市公立保育所の主任保育士として勤務
(南部乳児・鈴が峰・砥堀・的形の各保育所)
- 2004年～ 姫路市公立保育所の所長として勤務
(山田、的形の各保育所)
- 2009年～ 姫路市立的形保育所と的形幼稚園の所長・園長を兼任
両施設の幼保連携型認定こども園移行に携わる。
- 2012年～ 姫路市立高浜保育所に所長として勤務
- 2016年～ 姫路市市役所退職後、保育所等訪問支援事業所プレイジム
に訪問支援員として勤務



教育・保育内容について

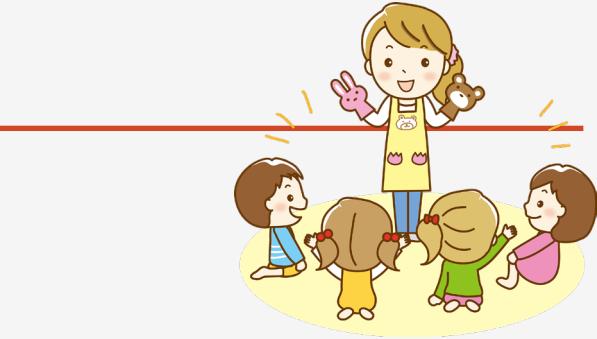


公立園の教育・保育を十分に引き継ぎます

★施設長予定者は、公立園での勤務経験を活かし、公立園から私立園に移行する橋渡しを行います。

★法人の中でも経験豊富で信頼のにおける職員を新園に異動させる予定です。引継ぎは、この職員を中心に実施し、法人内でも引き継ぎチームを編成し、適宜会議等を行っていきます。

★三者協議会等で、丁寧に保護者の皆様の意見を聞き、合意形成を図った上で進めています。



豊かな遊びと様々な体験活動を大切にします



1 園庭・園舎・設備からも、こどもが主体的に、様々な豊な遊びが展開できる様に工夫。



2 カリキュラムは公立園のものを引き継ぎ、加えて、法人所有のバスなども活用した、様々な体験活動を提供。



3 地域を中心に、自然に多く触れ、5感を育む。神社等近隣施設との連携を始めている。



探究活動にはICTも活用します



1 ipadに様々なICT教育アプリが入っています。探究活動として、子どもが主体的に取り組める内容です。

2 これからの時代に必ず必要な、プレゼンテーションも行っています★

3 ICT + 自然や、デジタル + アナログもテーマの一つ。自ら考え取り組んで行く姿が見られます。可能性は∞

様々な方法で保護者の皆様との連携をはかります



- 1 行事は現在のものを引き継ぎます。また行事は土曜日にも開催したいと考えています。
- 2 日々の様子、ライブ配信等、デジタルの導入
- 3 定期面談の実施。信頼関係の構築
- 4 カリキュラムとして専門講師を招いた活動を導入



特別な支援が必要な子どもたちに対して、それぞれに寄り添った支援をします



1 施設長予定者の特別教育支援士の資格とプレイジムでの勤務経験を活かした支援を行います。

2 既存園では職員の専門研修にも力を入れ、各関係機関とも綿密な連携を図っています。

3 インクルーシブ遊具の設置と落ち着ける空間設計を実施します。



法人既存園でも取り入れている、ジャクエツ開発のインクルーシブ遊具を設置

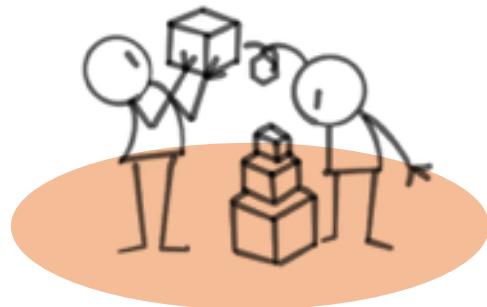
計画地と園舎・園庭について



計画地の場所



設計コンセプト



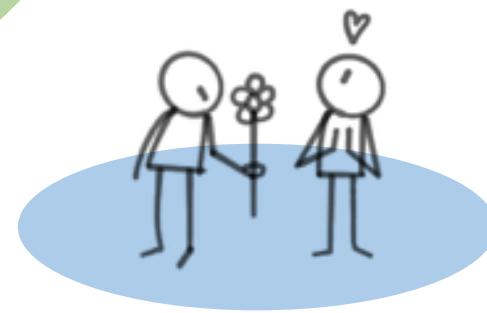
遊びにふれる



しょくにふれる



ぬくもりにふれる



やさしさにふれる



つながりにふれる



設計プラン

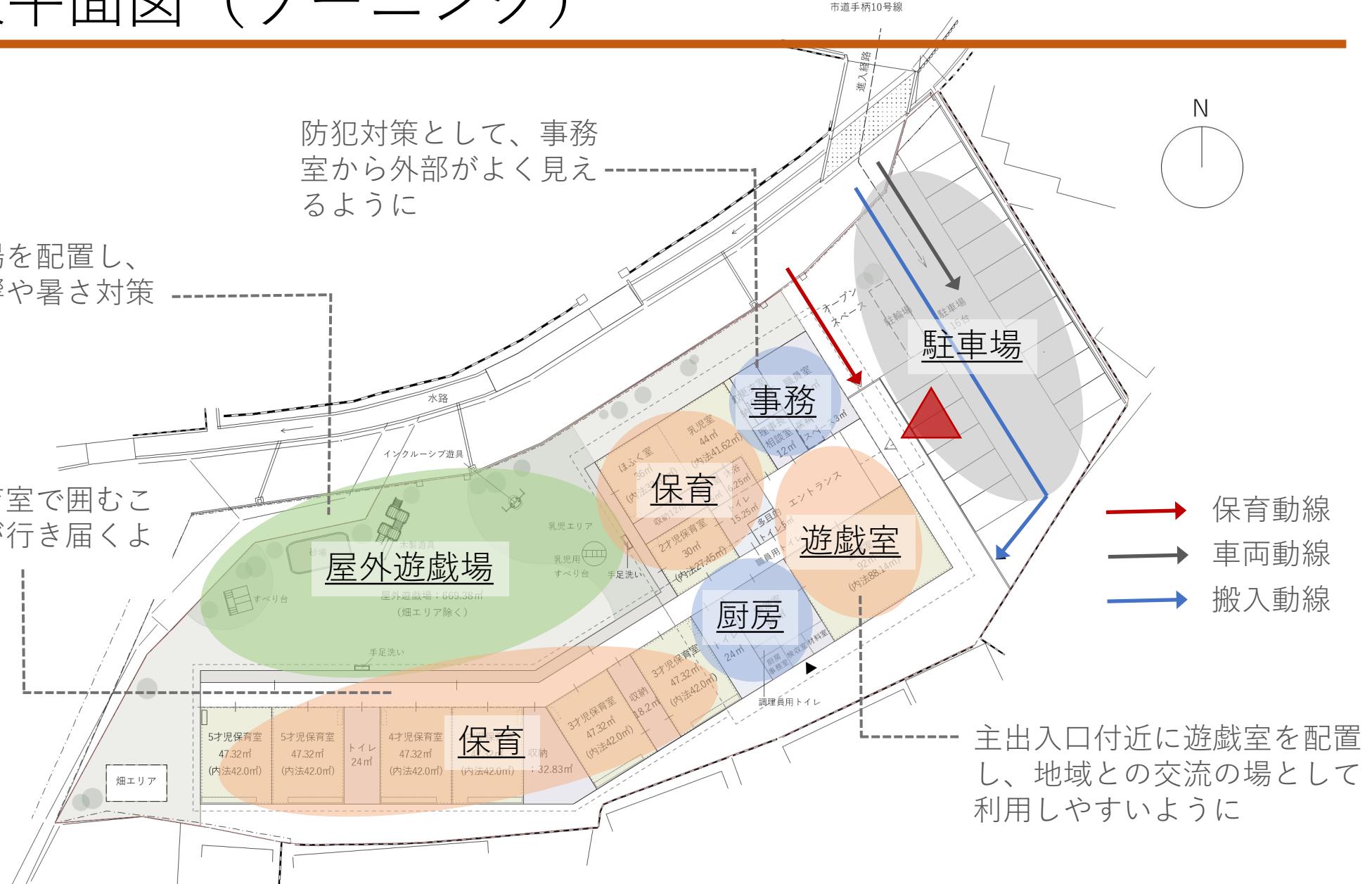
配置図兼平面図（ゾーニング）

北側に屋外遊戯場を配置し、
近隣への音の影響や暑さ対策
にもなるように

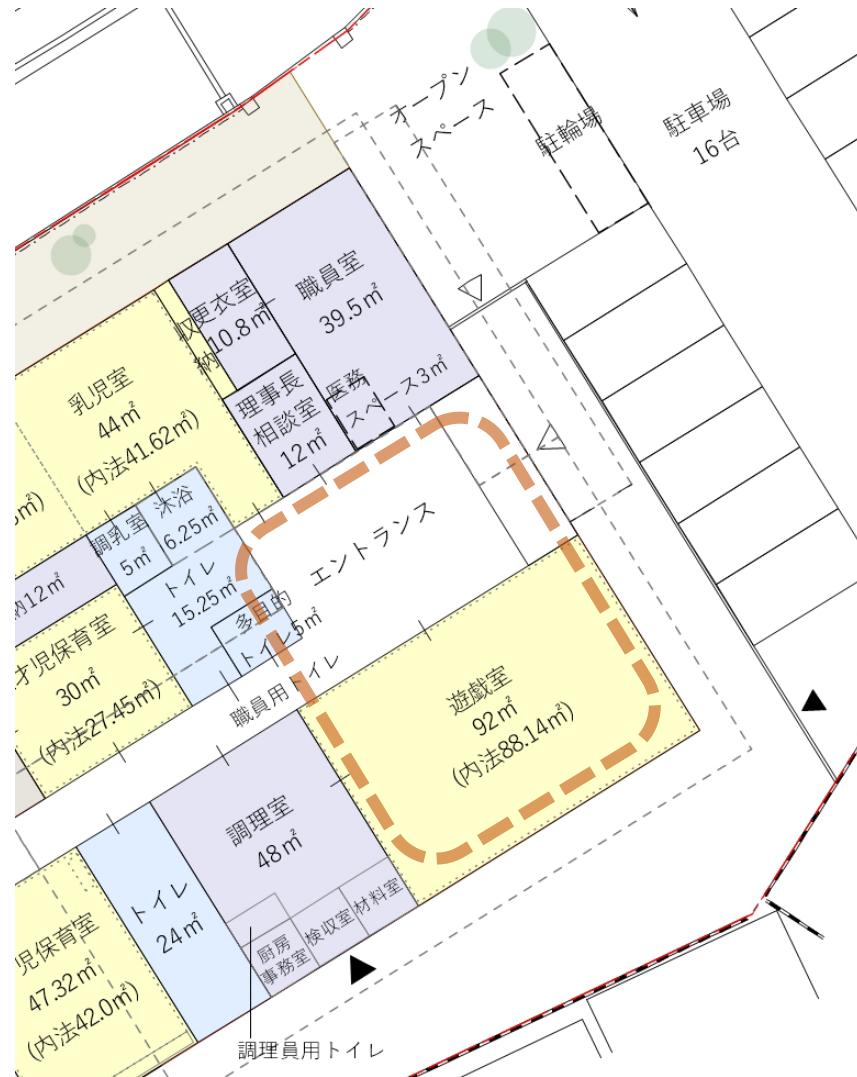
屋外遊戯場を保育室で囲むこと
で、職員の目が行き届くよ
うに

防犯対策として、事務
室から外部がよく見え
るように

主出入口付近に遊戯室を配置
し、地域との交流の場として
利用しやすいように



エントランス-遊戯室



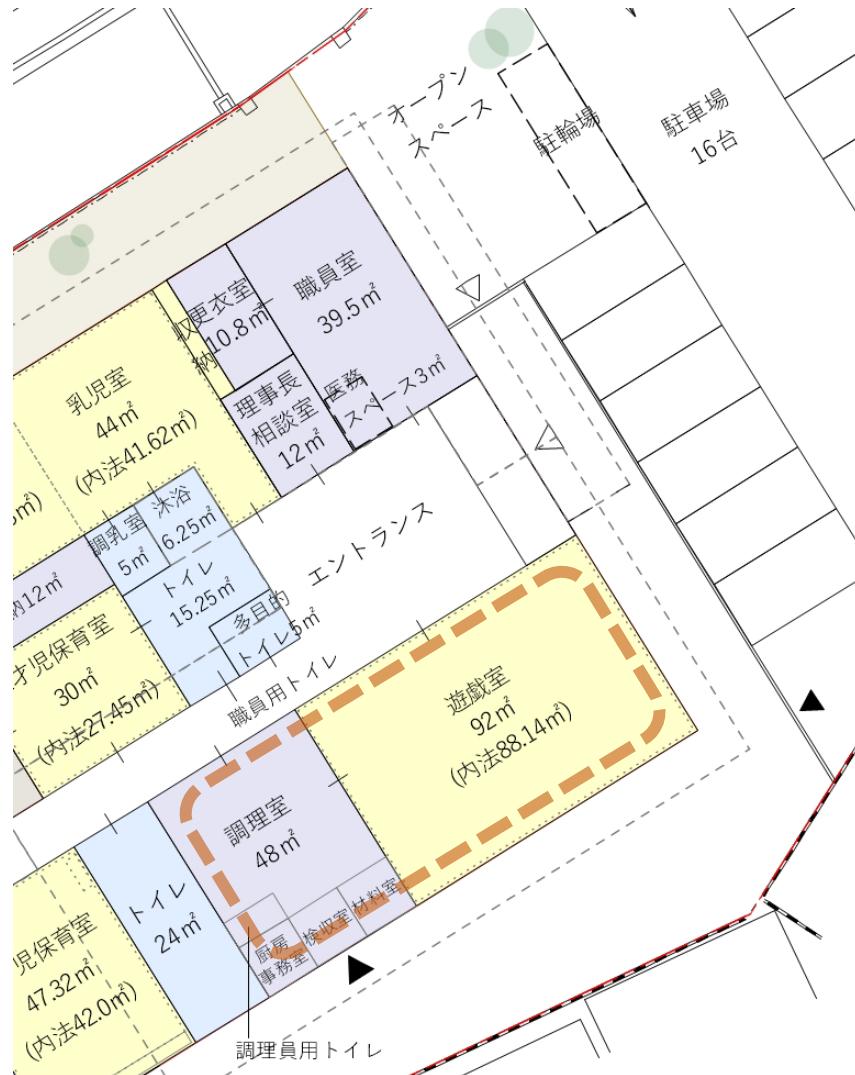
◀建具を開ける
ことで一体で
利用できる

▼閉めた時



◀遊戯室
壁収納ステージ
左：利用時
右：収納時

調理室 – 遊戯室



▲調理室に窓を設置
し遊戯室をランチ
ルームとして利用



乳児保育室・乳児トイレ



◀可動式家具で多様な使い方
ができる乳児保育室
定員構成に柔軟に対応可能

▼乳児トイレ・沐浴室



幼稚園・保育園



▲ぬくもりを感じる保育室



▶ 幼児トイレ



保育室－廊下－屋外遊戯場



▲開放感のある保育室前の廊下

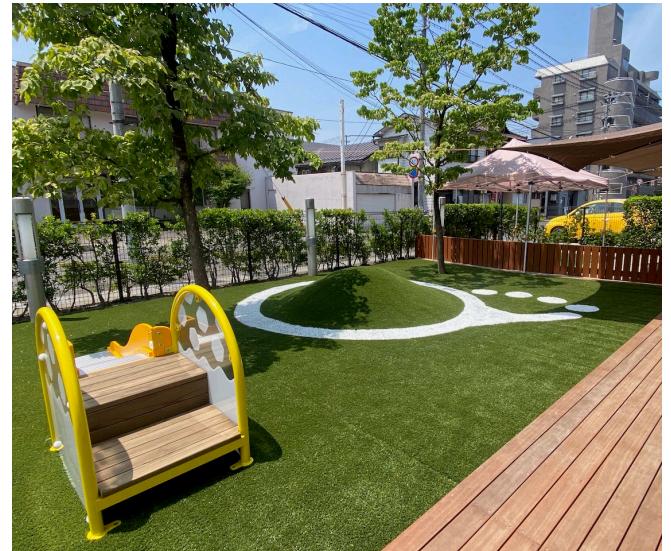


◀保育室から屋外遊戯場を見ることがある

屋外遊戲場



▲インクルーシブ遊具



▲乳児エリア





ご清聴ありがとうございました。